

# 池田の大眾文化

## ～昭和大阪芸能史～ その一

移築された呉服座外観 (博物館明治村)



今秋、歴史民俗資料館では、池田を中心とした明治時代以降の大眾文化に焦点を当て、特別展を開催します。  
昭和10年前後、演劇・映画・歌舞伎・落語・レビューといった文化がひとつのピークを迎えました。池田には呉服座・明治座・春日座、また、川向かいの川西には川西座などの芝居小屋や寄席があり、芝居見物などは当時としては、胸ときめく数少ない楽しみの一つとなっていました。この、思い出深い劇場を中心に、秋の特別展に向け、今号から4回にわたり「池田の大眾文化」についてご紹介しましょう。

### 北摂の中心地「池田」

池田は、明治維新による金融業の打撃、また、明治時代末以降の交通機関の発達により、能勢地域と大阪を結ぶ物資の中継地としての地理的特性が徐々に低下し、江戸時代以来の経済的繁栄に陰りが見えるようになり、北摂の政治・経済の中心としての地位を保っていません。  
このような社会的背景のもと、池田は呉服座に代表されるような大眾の娯楽の中心地としての素地も備えていたわけでは

### 戎座から呉服座へ

現在の池田市栄本町に戎座がまつられていたといわれ、その辺りを「井戸ノ辻」と呼んでいました。このあたりに明治7年ごろ「戎座」という芝居小屋ができたそうです。  
この小屋が明治25年ごろ、呉服橋(巡礼橋)のたもと(現在の西本町)に移転し、呉服座と呼ばれるようになったといわれています。明治25年というのは、呉服座解体に際して「上棟明治廿五年辰八月拾日建」という棟札が見つかったことによります。当時この辺りは、池田の西の入口という意味で「西の口」といわれ、ちょうど巡礼道と能勢街道が交差する場所、大層なにぎわいであったといわれています。

### 呉服座のにぎわい

呉服座は、一般には五福大入といわれるところからゴフク座とも呼ばれていました。呉服座では、歌舞伎・壮士劇・新派・浪曲劇・社会劇・漫才・映画などの各種芸能の上演にはじまり、さらには政治運動にまでと、さまざまな形で利用されていたといわれています。  
二代目中村鴈治郎(当時は扇雀)と長谷川一夫(当時は林長二郎)の共演、渋谷天外(池田

渋谷の出身といわれている)・浪花千栄子・藤山寛美・不二洋子・南都雄二・ミヤコ蝶々・砂川捨丸・日佐丸・ラッパなどといった人々が呉服座の舞台上に上っていたといわれています。また、明治41年、第10回総選挙の際に尾崎行雄が当地出身議員の応援演説をしたり、思想家・荒畑寒村が大正初期に演説会をもったのも呉服座です。

### 呉服座の豆芝居

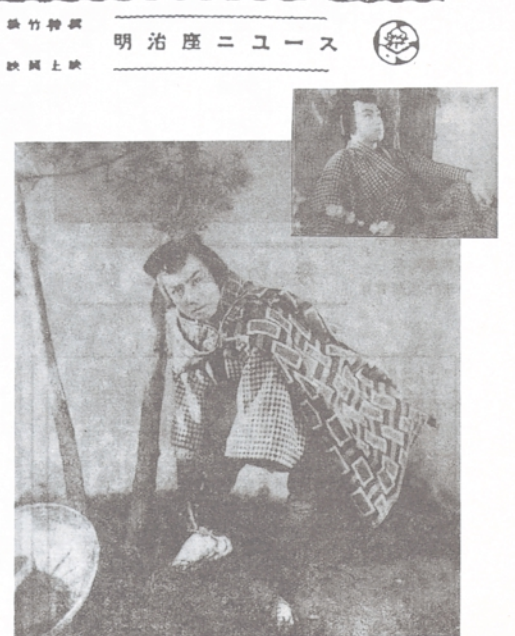
呉服座が1年のうちで最もにぎわいを見せたのは豆芝居のころだといえます。豆芝居というのは、ソラマメが出回る5月ころ、ちょうど田植え前の農閑期に当たるのですが、このころに掛かる芝居のことをいうそうです。ソラマメ入りの弁当を持参して観劇する人も多く、この名前が生まれたともいわれています。  
この時期、呉服座には池田はもとより、近隣地域の人々が詰め掛け、日によっては千人もの入場者があったという盛況ぶりでした。5月1日から1週間ないし10日間といった期間で、午後5時から11時ごろまで、主に歌舞伎が上演されました。古い

### 呉服座のようす



### 寄席から出発した明治座

記録ですが、大正2年には、244日の開演に入場者延べ2万6598人があったといえます。  
呉服座が新旧劇を主とするいわゆる劇場であったのに対し、大西町(現在の綾羽2丁目)にあった明治座は落語を主とする寄席であったといわれています。明治座は呉服座に比べ、創設当初、また、その後の経緯があまりよく知られていません。  
現在残されているわずかな資料からすれば、既にあった小屋を大正12年2月11日から映画館



明治座ニュース (昭和7年)

明治座ニュース (昭和7年)

として改修、オープンしたことになると思います。無論、当時は無声映画の時代であり、映像に合わせて楽団がバックミュージックを流し、弁士が熱弁を振ったといえます。また、池田では2番目にラジオを導入し、幕間に音声を流したよう、現在からすればかけ離れた観があります。  
やはり大正2年の記録ですが、明治座では、21日の開演に、589人の入場があったとされています。

### アスメディの発達

ところが、昭和30年代後半からのテレビなどの急速な普及に伴い、芝居はもとより映画にも陰りが見えはじめ、徐々に客足が遠のき、廃業の止むなきに至りました。呉服座では昭和44年5月、市川市藏劇団の「鎌倉三代記新口村の段」の上演を最後に、同年6月1日にその幕を閉じました。その後、愛知県犬山市の博物館明治村に解体移築され、昭和59年12月に国の重要文化財に指定されました。

### 川西座外観 (明治43年ごろ)



(No.6) 池田川西岸にあり橋架つて場ノ山

### 資料提供のお願い

歴史民俗資料館では、戦前から昭和30年ごろまでの呉服座や明治座、また、川西座などの資料を調査しています。わずかでも結構です。そのころの各種芸能・映画などの関連資料をお持ちの方がいらっしゃいましたら、ぜひお知らせください。

問い合わせ=同館 (五月丘1丁目10-12、☎51・3019)